

中高一貫だより

＜編集・発行＞
えりも地区連携型
中高一貫教育
推進委員会事務局

中高一貫教育として、今年度のえりも中学校での取り組みについて、お知らせします。

環境フィールド学習

『百人浜に学ぶ』

6月10日(月)に日高南部森林管理署えりも治山事業所治山技術官の瓜田元美氏を講師に招き、百人浜緑化事業の歴史について講演会が行われました。また、6月17日(月)に百人浜で実際に植樹を体験しました。子どもたちの感想を一部紹介します。

1年A組 能登 悠介

今日の植樹体験を通して、カミネッコンなど昔から今までに色々な工夫がされてきたのがわかりました。そして、今みたいにたくさんの木があることに感動しました。昔、飯田常雄さんなどの人が毎日毎日何回もやってきたという苦労が伝わってきたので、これからも森を大切にしていきたいと思いました。



1年A組 齊藤 慶太

まず岬の林業センターに行き「カミネッコン」を作りました。作り方は難しくて何回か失敗したけど最後まで作れてよかったです。

そして作ってから百人浜に行き「カミネッコン」に植木を入れ、植える場所に行きしっかり植えました。

僕は植えた木が一番大きな木になってほしいです。



1年A組 小山内 悠人

今日は植樹をしてみて、植樹した小さな苗が10年後には大きな木になっているのが楽しみになりました。将来、自分の名前が書いてあるプレートを見に行き、自分の木の成長を何回も見に来たいと思いました。カミネッコンをつくる時は大変でした。30年後には自分より大きな木になって育ててほしいと思いました。

1年A組 田内 碧士

今日は百人浜フィールド学習で木を植えるに行き最初は林業センターでカミネッコンという段ボール型のはちの巣みたいなものを作り、作った後は百人浜に移動して木を植えました。昨年植えた今の2年生の木もあって、とても大きくなってたから無事に大きくなってほしいと思うし、僕たちがたくさん年をとったら、植えた木もとても大きい木になってほしいと思います。

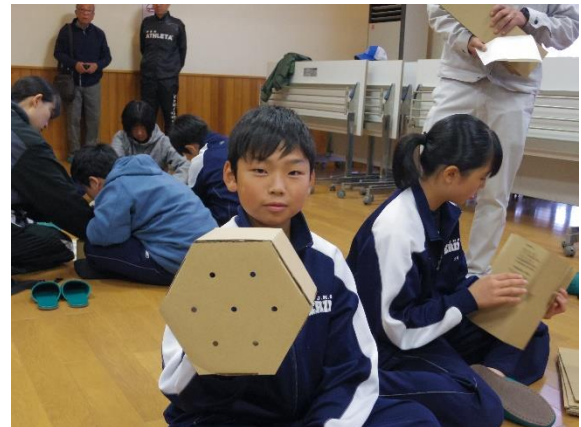
1年B組 田中 奏大

今日は植樹をしました。小学校のときから参加してきましたが、今日は少し違うことをしました。カミネッコンを作るのがとても楽しかったです。木を植えるときに美術で作ったネームカードをつけました。自分の植えた木がどれくらい大きくなるのかとても気になりましたし、これからも植樹に関わっていきたいです。



1年B組 藤田 萌

植樹の感想は、自分たちの植えた苗がどれくらいに成長するのが楽しみだと思いました。この先も、植樹が続いていけばいいなと思いました。



1年B組 北村 友昌

緑化事業の感想は、30年以上たってもまだクロマツが小さくてびっくりしました。そして、しっかり木を植えて大きく育ててほしいという気持ちで植えました。これからは緑化事業に積極的に取り組んでいきたいです。

1年B組 坂田 大粋

百人浜フィールド学習で作った「カミネッコン」が少し難しかったです。高校生になって見に来るのが楽しみになりました。2本植えるだけでも時間がかかるのに、40年も続けてすごいと思いました。



↑ 生徒がつくったカミネッコン

